

「口は災いのもと。愚かな言動は、大きな後悔。」
いまやっと、東栗倉の吉田にさしかかったところ。
3月6日。寒い朝。日陰は凍結。残りは3kmもあろうか。息苦しいばかり。70歳を超そうかと思われる
元気な老ランナーにも抜かれる。30mほど前方を歩
いている人もいる。よし抜いてやろうと思うが、走
っている私とその距離が縮まらないのは何故か。

今年は記念すべき第20回あわくら武蔵マラソン。
大原高校の生徒・教職員は全員出場するぞ。私も6km
に挑戦すると軽率にも口走ってしまった。「口は
災いのもと」

生徒は10名(在校生17名)が、エントリー。教職員
は7名がエントリー。開会式での選手宣誓は、10km
に出場の大原高校2年生の平田朋大君。剣道部らしく
大きな声で立派な宣誓。インフルエンザなど体調不良
で出場できなかった者もいたが、それぞれのコースで
健脚を競った？いや果てしなく苦しんだ。

私も、2週間余りクアガーデンのジムでトレーニング。
積年の不摂生と怠慢から、筋肉も臓器も、ランニング
を拒否。しかし、出場する以上は意地でも完走せねば
ならぬ。くだらない美学が己を苦しめる。

やっとのゴールの大原高校のグラウンドが近づいて
来た。校門では、女性の先生方の応援。うれしかった。60
位36分35秒でのゴール。後日、地元一位の立派なトロ
フィまでいただく。申し訳ない。

二天一流コース(20km)には、2名の先生が完走。
その精神力に感服。特に福田智文先生は、趣味がダイ
エットとランニングとは言え、1時間48分6秒で地元

1位。狙っていたそうです。

福田先生の言。「ダイエットから始めたランニング。2
年間で18kgやせました。今後はフルマラソンにも
挑戦したい。」

福島舞さんの言。「去年は20kmに出場したが、今
年は10kmだったので少し楽だった。それでも苦し
い時間があったが、お母さん・友人・先生の応援に励ま
された。大原高校のみんなに感謝。記録は31位1時間
1分18秒でした。」

小淵由衣さんの言。「去年と同3.5kmのファミリ
ーコースに出場しました。福島祐輔君と居安麻衣さん
と水島雄一先生の4人で一緒に走っていました。しか
し、徐々に水島先生が遅れたので、ゴール間近い高岡
屋付近で待って全員25分29秒でゴールしました。そ
れにしても水島先生は遅かった。」

しんどいマラソン大会であったが、大原高校の生徒・
教職員の殆どの者は、ランニングしたり、勝手に応援
したりして参加した。「先生がんばって」「何々ちゃん
ガンバレ」の声援は、うれしい。特に寒い朝、高齢の方
の応援は、参加者全員の力になりました。

私もボランティアで参加されていた給水場での若
林PTA会長の声援に感謝いたしております。生徒・
教職員が地域の人々に感謝する有意義な1日となった。
出場者全員、来年もガンバルゾ。

(副校長 上原正之 3月18日記)

第七回「金婚夫婦お祝いの集い」参加者募集

山陽新聞社は五月に第七回「金婚夫婦のお祝いの集
い」を岡山、倉敷、津山の三会場で開催します。

この催しは、半世紀を共に歩んできたご夫婦を祝福
し、健康で生きがいのある長寿社会を目指す山陽新聞・
地域ふれあい事業です。

ご希望のご夫婦は下記の要領でお申し込みください。
参加は無料です。

◎会場と日程

倉敷会場 5月14日(土) 倉敷市芸文館 (倉敷市中央)	津山会場 5月21日(土) ベルフォーレ津山 (津山市新魚町)	岡山会場 5月28日(土) 岡山シンフォニー ホール (岡山市表町)
---------------------------------------	--	--

◎応募資格

昭和三十年(一九五五年)一月〜十二月に結婚され
たご夫婦。

◎申し込み方法

はがきに二人の氏名(ふり仮名)、生年月日、結婚
日、郵便番号、住所、電話番号、希望する会場と同
伴する家族がいる場合は人数を記入して、
〒七〇〇・八六三四

岡山市新屋敷町一の一八、山陽新聞社「金婚夫
婦のお祝いの集い」係あて郵送してください。

◎申し込み締め切り

〇四月十五日(金) 当日消印有効

◎問い合わせ先

電話〇八六・二三一・三〇五(午前九時半〜午後五時半)

◎行事予定

記念式典をはじめ、弦楽四重奏による懐メロの演奏
や半世紀の世相を振り返るビデオ上映、民謡のステ
ージなどを予定。参加者には祝辞状や記念写真、お
祝いの金杯などを贈ります。